

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトA		
担当者(Instructors)	寺島 雅隆	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

クラウドファンディングを実践し、それを学問的に分析します。クラウドファンディングとは、インターネットを通じて資金を集めることです。そのためには出資者のメリットや、社会的意義が無ければなりません。それが広がってきた背景を分析し、実際に取り組むことよって時代変化を体感し、社会に参画します。この授業ではゼロから企画し、クラウドファンディングに登録し、実際に運用するという挑戦してもらいます。将来、企業において資金調達する機会があるかもしれず、経験しておくのは良いことだと思います。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	クラウドファンディングに実際に挑戦する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	概要説明	授業概要を説明し、流れとリスクを認識します。	<input type="checkbox"/>
第2回	クラウドファンディング分析	クラウドファンディングとは何かを理解します。	<input type="checkbox"/>
第3回	クラウドファンディング種類	融資(貸付)型・ファンド型・株式(エクイティ)型の違いを知る。	<input type="checkbox"/>
第4回	クラウドファンディングサイト	Makuake・CAMPFIRE・READYFOR・FAAVO・スポチュニティなど。	<input type="checkbox"/>
第5回	クラウドファンディング企画	企画を考えます。	<input type="checkbox"/>
第6回	グループワーク-企画1	企画を考えます。	<input type="checkbox"/>
第7回	グループワーク-企画2	市場調査します。	<input type="checkbox"/>
第8回	グループワーク-企画3	損益分岐点を計算します。	<input type="checkbox"/>
第9回	グループワーク-制作1	絵コンテと流れを構成します。	<input type="checkbox"/>
第10回	グループワーク-制作2	デザインを考えます。	<input type="checkbox"/>
第11回	グループワーク-制作3	サイトを決め、公開します。	<input type="checkbox"/>
第12回	グループワーク-運用1	ツイッター含め、宣伝を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	グループワーク-運用2	来た質問に答える	<input type="checkbox"/>
第14回	グループワーク-運用3	成功するまで頑張る。	<input type="checkbox"/>
第15回	レポート提出と発表	最終レポート提出と成果発表をします。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前には、授業のテーマについて調べ、インターネットや文献から知見を得てください。(約2時間)。事後には、授業内容を整理し、クラウドファンディングに取り組んでください(約2時間)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業におけるレポート課題及び発言について成績をつけます。次回授業までにLMSに反映させます。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自ら企画し、クラウドファンディングを立ち上げ、社会参画する。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> レポート・発言が30%、最終レポートと成果発表が70%。具体的にレポートは、毎回提出があります。レポートは各2点が満点で、合計30点です。そして、最終レポートと成果発表が合わせて70点が満点です。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		